

## 厚生労働省委託事業調査

平成28年度 介護労働実態調査 特別調査  
「介護労働者のストレスに関する調査」  
—事業所調査票—

本調査は、介護労働者が仕事上感じるストレスを把握し、その内容・程度と職場や仕事の特性との関係等について明らかにするとともに、介護労働者の職場環境整備等の解決策について研究し、その普及に役立てることを目的としております。

ご回答いただいた内容は、統計調査以外の目的で使用することはありません。

所在地  
法人名  
事業所名  
整理番号

(個人情報管理規程については<http://www.kaigo-center.or.jp/privacy.html>)

## 記入にあたってのお願い

- 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆で記入下さい。 (公財) 介護労働安定センター
- ご記入頂きましたアンケート用紙は、専用の返信用封筒(切手不要)に入れて、ご回答者が直接 **10月31日(月)までに**、ポストに投函してください。
- この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

※(公財)介護労働安定センターは、介護労働者の福祉の増進を図ることを目的として「介護労働者の雇用管理の改善等に関する法律」(平成4年法律第63号)に基づき厚生労働大臣から指定を受けた全国組織の公益法人です。

## 貴事業所についてお伺いします。

問1 貴事業所のサービスの種類は何ですか。(○は1つ)

1. 認知症対応型共同生活介護
2. 介護老人福祉施設(ユニットケアのみ)
3. 介護老人福祉施設(ユニットケアは全体の一部)
4. 特定施設入居者生活介護

問2 貴事業所の全従業員数は何人ですか。

(具体的な数字を記入)

人 (平成28年9月末時点)

問3 貴事業所では、何人の職員数で、何人の入居者をみていますか。(具体的な数字を記入)

入居者  人 職員数 通常時  人 職員数 深夜時<sup>(注)</sup>  人 (注: 深夜時とは、原則午後10時から午前5時)

(平成28年9月末時点)

問4 要介護度4以上の入居者の割合はどのくらいですか。(○は1つ)

1. 7割以上
2. 5割以上7割未満
3. 5割未満

問5 認知症の入居者の割合はどのくらいですか。(○は1つ)

1. 7割以上
2. 5割以上7割未満
3. 3割以上5割未満
4. 3割未満
5. いない

問6 貴事業所では、基本的にターミナルまで看取りを行っていますか。(○は1つ)

1. 行っている
2. 行っていない

**貴事業所の雇用管理の取組みについてお伺いします。**

問7 貴事業所では、次のような取組みが十分に行われていますか。

十分に行われていると思うものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 仕事上の課題について上司と相談する機会や相談窓口の設定
2. 勤務体制(シフト)を決める際、職員の要望を聞く機会の設定
3. 介護の能力に見合った仕事への配置
4. 介護能力の向上に向けた研修
5. 認知症への理解を深める研修
6. ストレスマネジメントの研修
7. リーダーに向けての研修
8. 上司や先輩から指導を受ける機会の設定
9. 介護に関する事例検討会やカンファレンス等情報共有の場の設定
10. 上司や先輩に仕事上の疑問点を聞く機会の設定
11. 職場全体の課題を共有できる機会の設定
12. 定期的な健康診断の実施
13. 定期的なストレスチェックの実施
14. 介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入
15. 事故やトラブルへの対応体制
16. 上記に該当するものはない

問8 次のような取組みは、従業員のストレスを解消するうえで、どの程度役立つと思いますか。

貴事業所における実施の有無にかかわらず、a)～o)のそれぞれについて、

1～3のうち最も近いと思う番号に○をつけてください。（○は1つずつ）

	役と 立て つも	立少 つし 役	な役 い立 た
a)仕事上の課題について上司と相談する機会や相談窓口の設定	3	2	1
b)勤務体制(シフト)を決める際、職員の要望を聞く機会の設定	3	2	1
c) 介護の能力に見合った仕事への配置	3	2	1
d) 介護能力の向上に向けた研修	3	2	1
e) 認知症への理解を深める研修	3	2	1
f) ストレスマネジメントの研修	3	2	1
g) リーダーに向けての研修	3	2	1
h) 上司や先輩から指導を受ける機会の設定	3	2	1
i) 介護に関する事例研修会やカンファレンス等情報共有の場の設定	3	2	1
j) 上司や先輩に仕事上の疑問点を聞く機会の設定	3	2	1
k) 職場全体の課題を共有できる機会の設定	3	2	1
l) 定期的な健康診断の実施	3	2	1
m) 定期的なストレスチェックの実施	3	2	1
n) 介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	3	2	1
o) 事故やトラブルへの対応体制	3	2	1

～これで質問は終わりです。長時間にわたりご協力ありがとうございました。～